

# 令和7年度私立高校3年生の保護者を対象とした 高校生活満足度調査の結果について

令和8年3月  
大阪府教育庁私学課

大阪府では、子どもたちが、中学校卒業時の進路選択段階で、自らの希望や能力に応じて自由に学校選択できる機会を保障することを目的に、平成23年度の新1年生から、私立高校の授業料無償化制度（私立高等学校等授業料支援補助金）を実施しています。

この無償化制度の効果検証の一環として、令和7年度の私立高校3年生の保護者を対象として、高校生活に関する満足度調査を令和8年1月から2月に実施しました。

本調査は、令和7年度の高校3年生に対し実施しており、今年度で13回目の実施となります。

## 【調査結果の概要】

### ○ 「子どもが3年間の高校生活の全体を通して成長・向上した」という肯定的な意見は約9割に及んだ。

3年間の高校生活を通じて、子どもが成長・向上したこととして肯定的な意見が最も多かったのは「ルールを守り、規律正しい生活を送ることができた（94.4%）」（R6:93.9%、R5:95.5%）であり、次いで、「授業の内容を十分に理解できた（89.2%）」（R6:89.2%、R5:90.5%）であった。

### ○ 3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった」が最も肯定的な意見が多く、約9割に及んだ。

3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった（89.1%）」（R6:89.0%、R5:87.5%）が最も肯定的な意見が多く、次いで「生徒の指導に熱心だった（88.9%）」（R6:87.5%、R5:87.5%）、「生徒をよく理解してくれた（86.9%）」（R6:86.4%、R5:85.0%）、「授業が分かりやすかった（86.9%）」（R6:87.1%、R5:86.1%）が多い結果となった。

### ○ 3年間の高校生活を通じた私立高校に対する満足度は、「学校生活全体を通して満足している」という肯定的な意見が90.7%となっている。

3年間の高校生活を通じた私立高校に対する満足度を聞いたところ、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた肯定的な意見としては、「学校生活全体を通して」では、90.7%（R6:90.6%、R5:87.4%）と高い割合を示し、「学校行事に関して（89.1%）」（R6:87.6%）が最も肯定的な意見が多く、次いで「（学校からの）情報提供に関して（87.8%）」（R6:86.0%）が多い結果となった。

### ○ 授業料無償化制度の対象であった者のうち、授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことが3年間の高校生活を送る上で、「大いに影響した」と回答した割合は約6割に及んだ。

無償化制度の対象者のうち、授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことが3年間の高校生活を送る上で、「大いに影響した」と回答した割合は、59.6%（R6:70.2%、R5:73.2%）であった。世帯の年収で区分して見ると年収590万円未満世帯では70.0%（R6:80.0%、R5:79.5%）、年収590～800万円未満世帯では63.2%（R6:69.3%、R5:64.4%）、年収800～910万円未満世帯では50.3%（R6:61.8%、R5:47.2%）、年収910万円以上世帯では44.1%（R6:51.1%）が「大いに影響した」と回答した。

## 【満足度調査の対象及び実施方法について】

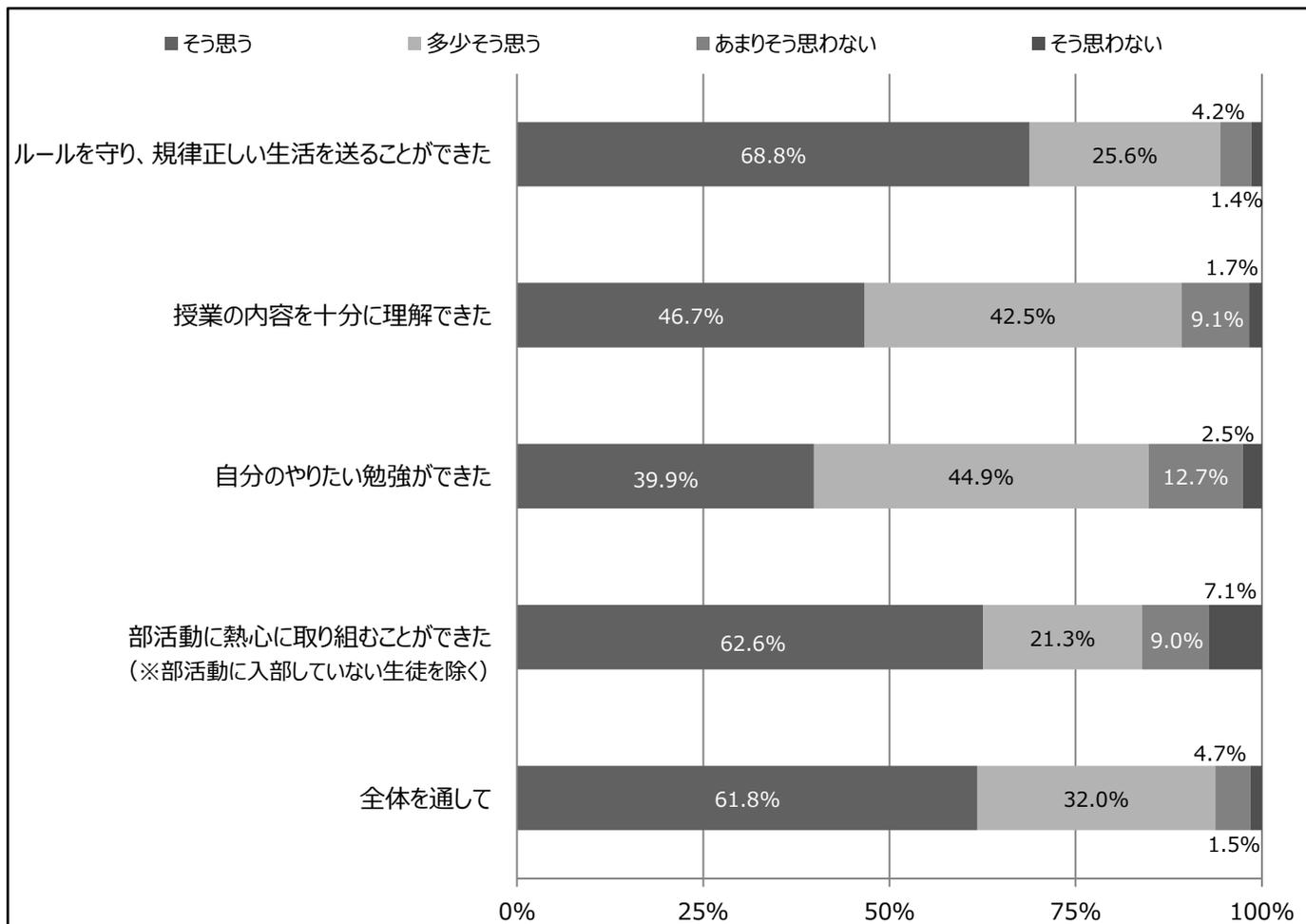
### 1 対象

府内の全日制私立高校（93校）に在籍する令和7年度の高校3年生の保護者

### 2 実施方法

今年度より全生徒を対象に実施。令和8年1月から2月までに4,729人（R6:5,427人、R5:3,053人）の保護者から回答を得た。

## 問1 3年間の高校生活を通じて、お子様が成長・向上したと感じておられますか。

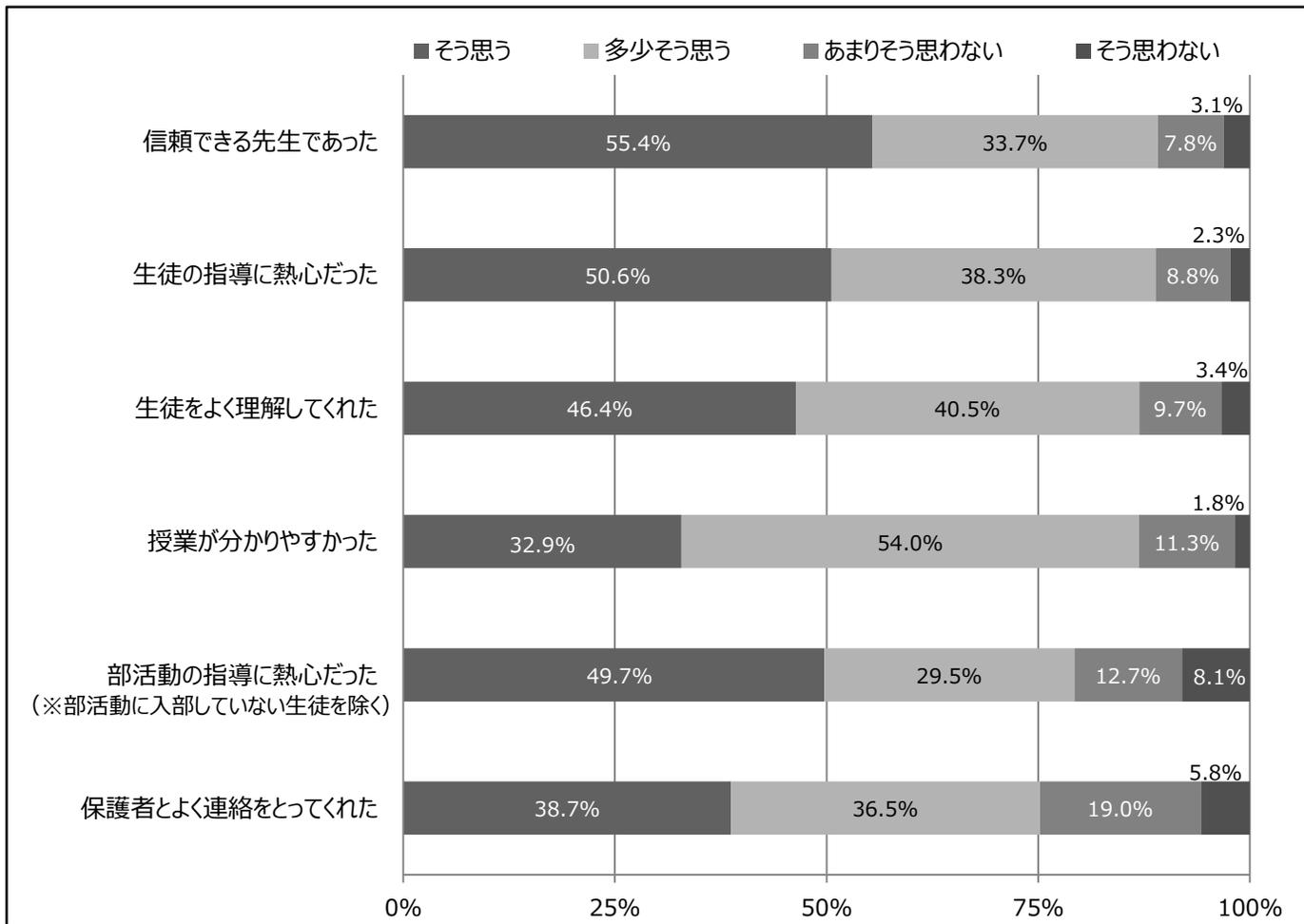


- 子どもが成長・向上したと感じている項目については、  
「ルールを守り、規律正しい生活を送ることができた」が94.4%と最も多い。

※令和6年度調査：「ルールを守り、規律正しい生活を送ることができた（93.9%）」が最も多かった。

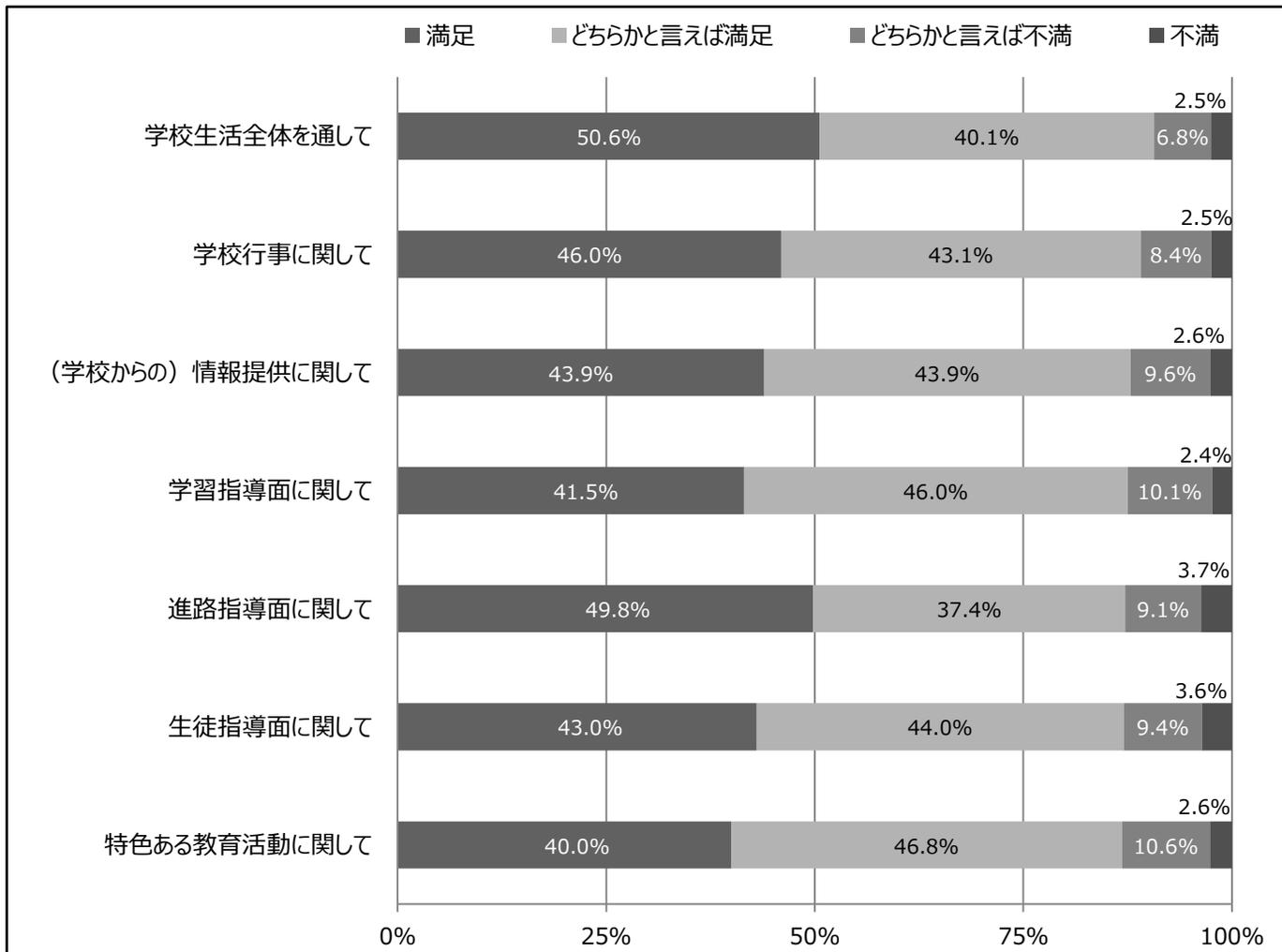
- ・ 3年間の高校生活を通じて、子どもが成長・向上したと感じている項目について聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見として、「ルールを守り、規律正しい生活を送ることができた（94.4%）」（R6:93.9%、R5:95.5%）が最も多く、次いで、「授業の内容を十分に理解できた（89.2%）」（R6:89.2%、R5:90.5%）となった。
- ・ 3年間の高校生活を通じて、子どもが成長・向上したと「全体を通して」感じたとした保護者は93.8%（R6:93.4%、R5:93.5%）であった。
- ・ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見が多いのは、「部活動に熱心に取り組むことができた（16.1%）」（R6:18.3%、R5:19.2%）であった。

問2 3年間の高校生活を通じて、学校の先生についてどのように感じておられますか。



- 学校の先生に対する評価については、「信頼できる先生であった」が89.1%で最も多かった。  
 ※令和6年度調査：「信頼できる先生であった（89.0%）」が最も多かった。
- ・ 3年間の高校生活を通じた学校の先生に対する評価を聞いたところ、「そう思う」と「多少そう思う」を合わせた肯定的な意見として、「信頼できる先生であった（89.1%）」（R6:89.0%、R5:87.5%）が最も多く、次いで「生徒の指導に熱心だった（88.9%）」（R6:87.5%、R5:87.5%）、「生徒をよく理解してくれた（86.9%）」（R6: 86.4%、R5:85.0%）、「授業が分かりやすかった（86.9%）」（R6: 87.1%、R5:86.1%）となり、それぞれ8割を超えている。
- ・ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的な意見としては、「保護者とよく連絡をとってくれた（24.8%）」（R6:26.3%、R5:28.0%）が最も多く、次いで「部活動の指導に熱心だった（20.8%）」（R6:20.6%、R5:22.4%）であった。

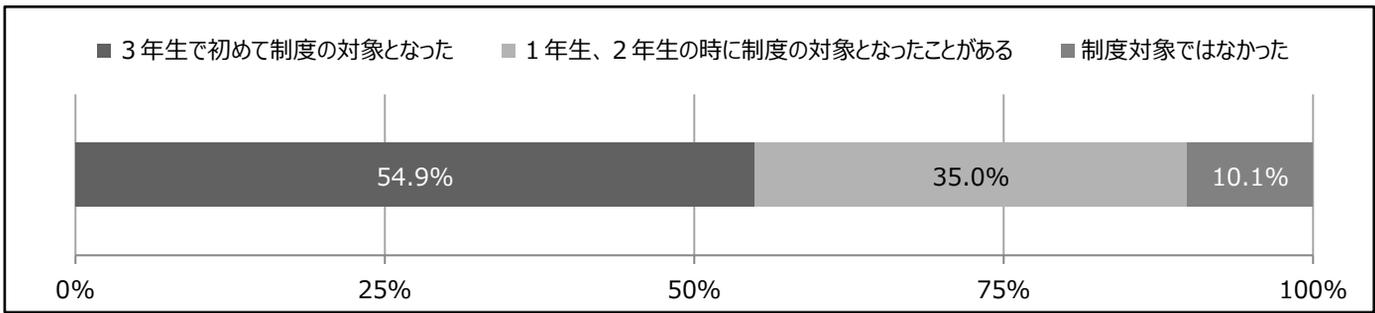
### 問3 3年間の高校生活を通じて、私立高校に満足していますか。



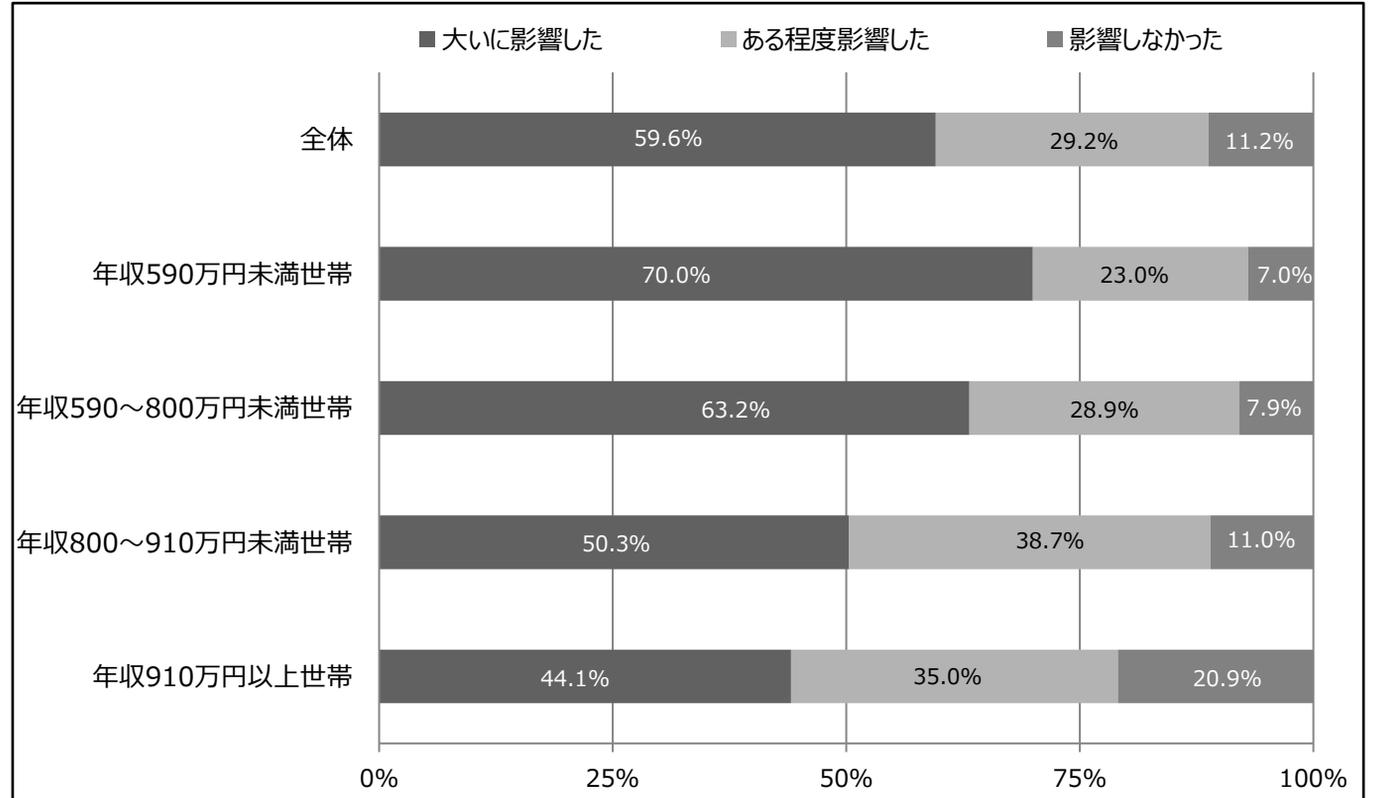
○ 3年間の学校生活を通じた私立高校に対する満足度は、「学校生活全体を通して満足している」という肯定的な意見が90.7%となっている。

- 3年間の高校生活を通じた私立高校に対する満足度を聞いたところ、「満足」と「どちらかと言えば満足」を合わせた肯定的な意見としては、「学校生活全体を通して」では、90.7%（R6:90.6%、R5:87.4%）と高い割合を示し、「学校行事に関して（89.1%）」（R6:87.6%）が最も肯定的な意見が多く、次いで「（学校からの）情報提供に関して（87.8%）」（R6:86.0%）が多い結果となった。
- 「どちらかと言えば不満」と「不満」を合わせた否定的な意見としては、「特色ある教育活動に関して（13.2%）」が最も多く、次いで「生徒指導面に関して（13.0%）」（R6:11.9%）となっている。

#### 問 4-1 あなたは授業料無償化制度（授業料支援補助金）の対象でしたか。



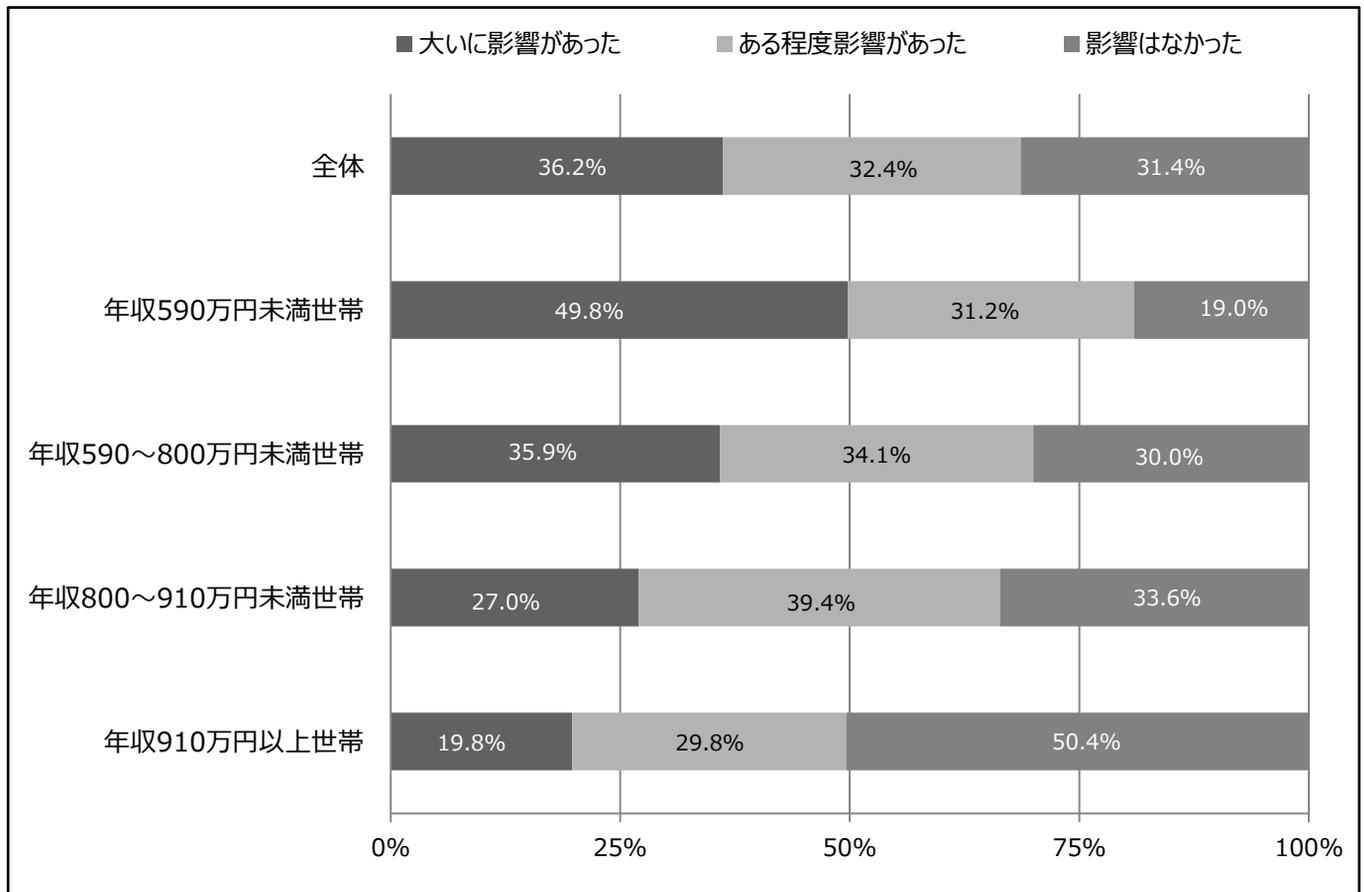
#### 問 4-2 授業料無償化制度（授業料支援補助金）により、経済的負担が軽減されたことが3年間の高校生活を送る上で、どの程度影響がありましたか。



○ 授業料無償化制度の対象であった者のうち、授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことが3年間の高校生活を送る上で、「大いに影響した」と回答した割合は59.6%（R6:70.2% R5:73.2%）となっている。

- 授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことでの3年間の高校生活への影響について聞いたところ、「大いに影響した」が59.6%（R6:70.2% R5:73.2%）、「ある程度影響した」は29.2%（R6:25.8%、R5:24.0%）となっており、合わせて88.8%（R6:96.0%、R5:97.2%）が影響したと回答している。
- これを世帯の年収で区分して見ると、
  - 年収590万円未満世帯では「大いに影響した」が70.0%（R6:80.0%、R5:79.5%）、「ある程度影響した」が23.0%（R6:17.9%、R5:18.7%）と回答し、
  - 年収590～800万円未満世帯では「大いに影響した」が63.2%（R6:69.3%、R5:64.4%）、「ある程度影響した」が28.9%（R6:27.2%、R5:32.4%）と回答し、
  - 年収800～910万円未満世帯では「大いに影響した」が50.3%（R6:61.8%、R5:47.2%）、「ある程度影響した」が38.7%（R6:32.3%、R5:46.2%）と回答し、
  - 年収910万円以上世帯では「大いに影響した」が44.1%（R6:51.1%）、「ある程度影響した」が35.0%（R6:40.5%）と回答し、世帯年収が低いほど、「影響した」と回答する割合は高くなっている。

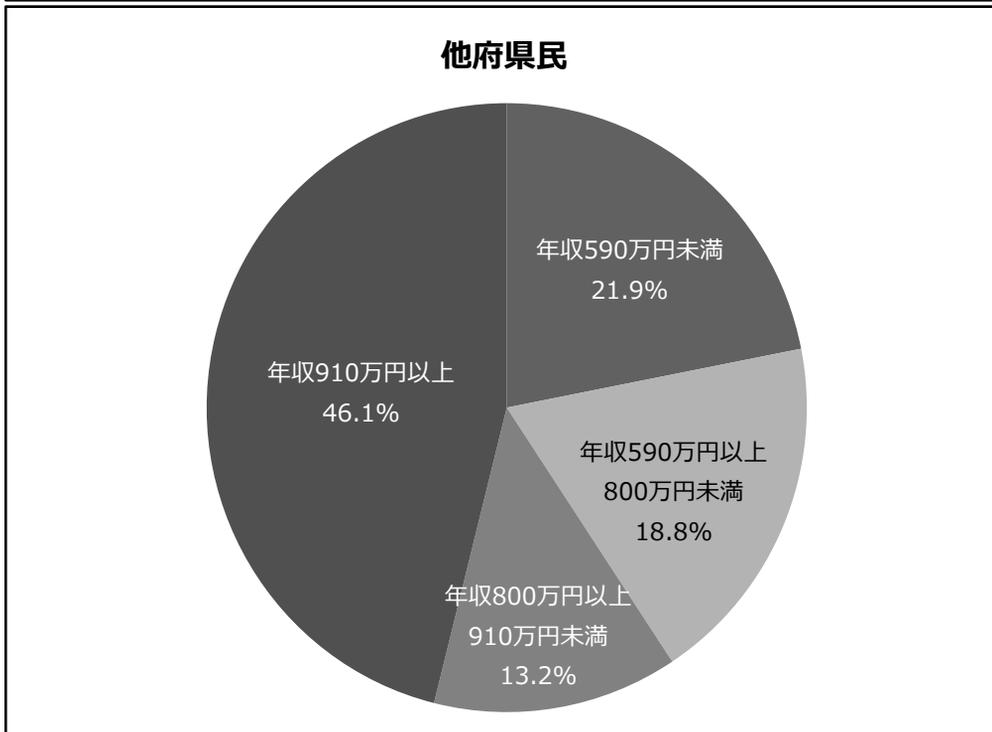
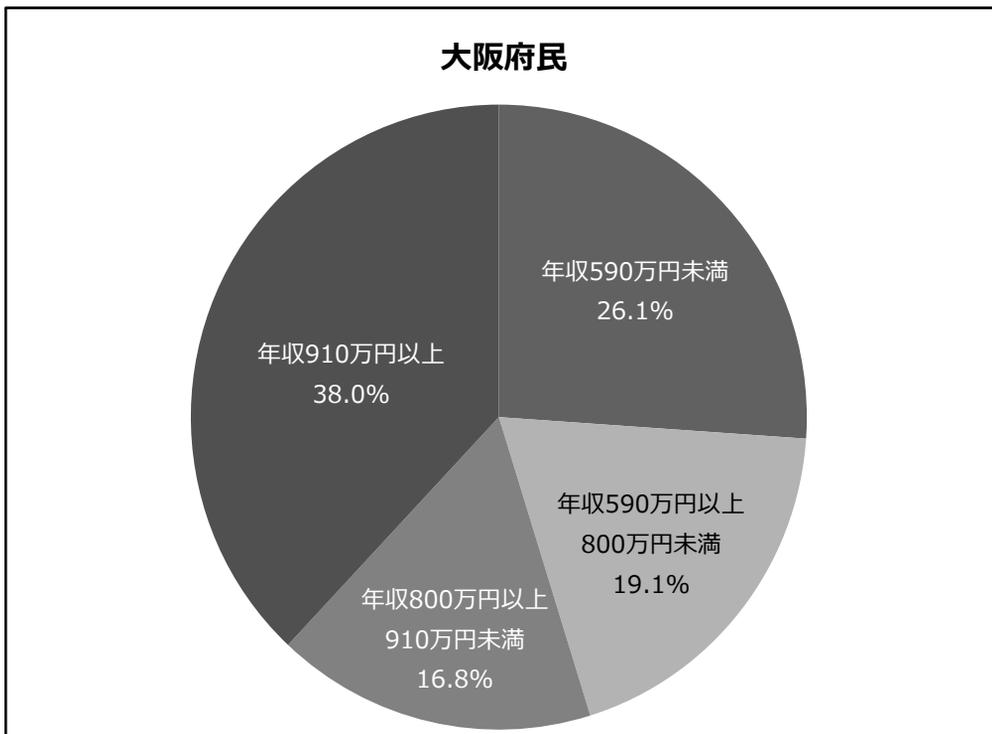
**問4-3 授業料無償化制度（授業料支援補助金）により、経済的負担が軽減されたことで、高校卒業後の進路選択にどの程度影響がありましたか。**



○ **授業料無償化制度の対象であった者のうち、授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことで、高校卒業後の進路選択に「大いに影響した」と回答した割合は36.2%となっている。**

- ・ 授業料無償化制度により、経済的負担が軽減されたことでの高校卒業後の進路選択への影響について聞いたところ、「大いに影響があった」が36.2%、「ある程度影響があった」は32.4%となっており、合わせて68.6%（R6:77.3%）が影響したと回答している。
- ・ これを世帯の年収で区分して見ると、年収590万円未満世帯では「大いに影響があった」が49.8%（R6:58.8%）「ある程度影響があった」が31.2%（R6:27.9%）と回答し、年収590～800万円未満世帯では「大いに影響があった」が35.9%（R6:44.7%）「ある程度影響があった」が34.1%（R6:31.8%）と回答し、年収800～910万円未満世帯では「大いに影響があった」が27.0%（R6:44.0%）「ある程度影響があった」が39.4%（R6:24.7%）と回答し、年収910万円以上世帯では「大いに影響があった」が19.8%（R6:30.2%）「ある程度影響があった」が29.8%（R6:28.8%）と回答し、世帯年収が低いほど、「影響があった」と回答する割合は高くなっている。

問5 あなたの世帯のおおよその年収をお尋ねします。



- 世帯の年収について聞いたところ、大阪府に在住している保護者については、  
年収590万円未満の割合は26.1% (R6:47.5%、R5:39.7%)  
年収800万円未満の割合は45.2% (R6:70.7%、R5:60.5%)  
年収910万円未満の割合は62.0% (R6:79.6%、R5:75.3%)  
年収910万円以上の割合は38.0% (R6:20.4%、R5:24.7%) となっている。

- なお、他府県から大阪の私立高校に通っている世帯の年収は、  
年収590万円未満の割合は21.9% (R6:38.3%、R5:33.6%)  
年収800万円未満の割合は40.7% (R6:59.0%、R5:50.0%)  
年収910万円未満の割合は53.9% (R6:67.7%、R5:63.4%)  
年収910万円以上の割合は46.1% (R6:32.3%、R5:36.6%) となっている。